

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方については、嘱託医を含め、ご家族や管理者、ケアワーカーと話し合いをしているが、ケアワーカーは医療行為ができないため、ここでの生活には限界がある。	できる限りホームでの生活を長く続けてもらえるよう、日頃からの体調管理をしっかりとしていく。	嘱託医との密な連携、毎日のバイタル測定、日頃からの状態観察をしっかりとし、異常の早期発見に努める。近隣施設、病院との連携もとり、情報収集をおこなう。	12ヶ月
2	37	入居者様の希望や、自己決定ができる方への対応として、外に出ることが限られているので、ストレスが溜まりやすい。	日々の散歩や買い物、季節行事はもちろん、個別の外出や家族と一緒に外出する機会を増やしていく。	ここでの生活が窮屈にならないよう、個別でのニーズにも対応していけるようにしていく。家族への協力の呼びかけ、ボランティアの導入等。	6ヶ月
3	19	ご家族にも一緒に参加できる行事を催したり、誕生会にも参加の声かけをしているが、参加や面会のご家族は決まっており、来られない方が寂しい思いをしていることがある。又、ご家族もそのような方を見ると面会に度々行ってよいのか遠慮してしまうことがある。	面会が少ない方、行事等で寂しい思いをする方がいなくなるよう、皆が楽しく過せる工夫をする。	地域のボランティアの方に声をかけ、空いている時間にお話や、家事を一緒にしてもらい、普段より顔見知りになって、行事等にも参加してもらおう。又、こちらもボランティアの方々を受け入れる体制を整える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。